



えいち

叡智と愛 2.0

臼杵市立北中学校
校長通信 NO.25
令和7年11月4日
文責:戸高浩二

北中生へ

シン・文化祭 2.0 「夢中～奏でる旋律・輝く結果～」

文化祭活動、始動！！

今日から文化祭の活動が本格的に始まる。11月15日(土)の本番に向けて、これまでシン・探究 2.0 で積み上げてきた知識や技術、音楽の時間に取り組んできた合唱に磨きをかけていく2週間が始まる。そこで文化祭に向けて、各学年にメッセージを送りたい。

初めての文化祭。1年生らしく。

1年生にとっては、初めての文化祭。目標は何か。何をすればいいのか。そもそも文化祭って何なのか…。いろんなことが分からず不安になるかもしれない。1年生はただ、今やることに夢中になる。それでいい。そうすれば、少しずつやるべきことが見えてくる。自分がやるべきこと。クラスでやるべきこと。学年でやるべきこと。先輩と一緒にやるべきこと。

北中は頼れる先輩がたくさんいる。1年生は先輩の姿を受け入れる素直さをもっている。分からることは先輩に聞けばいい。先輩が合唱練習をしている姿を観ればいい。何事にも興味をもって、思いっきり楽しむことができる1年生。仲間とともに明るく元気ハツラツな姿を文化祭で見せてくれ！

修学旅行で得た経験を文化祭で見せつけろ！2年生。

修学旅行で仲間との絆が深まった。集団を引っ張るリーダーがたくさん出た。京都自主研修やUSJでは全員、完璧に時間を守ることができた。それら一つ一つの成功は自信になったはずだ。1年前、まだまだ幼かった君たちが、修学旅行を通して確実に大人に近づいてきた。そして貫禄が出てきた。

日々、君たちの成長を見ることがとても嬉しく、私の生きがいにもなっている。さあ、修学旅行や入学してから1年半の経験を通して成長した姿を文化祭で見せつけよう！やるべきことは分かっている。2年生一人ひとりが夢中になり、仲間と一つになった時、とてつもないパワーが生まれる。2年生がもつパワーを出し切り、後輩のあこがれとなり、先輩達があせる合唱を聴かせてくれ！！

最後の文化祭。やり尽くせ！3年生。

今回が中学生活最後の文化祭。同じ地域に住み、同じ時を過ごした仲間と真剣に打ち込むことができる最後の行事となる。私の経験から言えることは、将来、このメンバー全員がそろって、何かに取り組める確率は、とてつもなく低い。ドジャースの山本投手の球を校長がホームランを打つ確率よりも低い。「卒業してもまた、成人式や同窓会でみんなに会える」と思っているかもしれないが、全員に会えることはほぼ無い。来年の4月、3年生全員、新たな人生を歩んでいくんだ。北中で仲間と過ごせる時間のカウントダウンはすでに始まっている。だから、今いる仲間とたくさん、話したり、笑ったり、ぶつかり合ったりしよう。それが存分に出来る行事が文化祭だ。1日・1時間・1分・1秒。何もしなければ、無駄に時間が過ぎていく。1日・1時間・1分・1秒。仲間と一緒に夢中にやれば、自分をさらに進化させることができる。それが将来、力となり、思い出となり、かけがえのない財産となる。仲間と夢中になって完成させた歌や作品は、多くの人に感動を与える。自分の力、クラスの力、学年の力、そして全校のリーダーとしての力を存分に發揮してくれ！これまでにない北中史上最高の文化祭を創ってくれ！！！

